

1 対象事項への質問及び回答

(1) 総合計画の中間見直し【企画政策課（企画情報課）】

質問・意見等	回答
パブリックコメントが46件ありながら、反映がないという点を一度、見直すべき。時期や伝え方で改善できる点があるのではないか。もしくはアンケートと連動させてワークショップ等を行う方法もあり得る。	46件の意見うち、考え方が現行案に含まれていた意見は2件、質問等は34件で、反映について検討し、現行案のとおりとさせていただいた意見は11件です。時期や伝え方につきましては第9次総合計画策定の際に検討してまいります。
資料3 No. 1に単なる見直しでなく後期計画として策定し大幅な見直しを実施とありますが、これが本当なら、審議会でなく、ワークショップを行い丁寧な工程を踏むべきと考えます。最上位の計画であるのに手法が恣意的でプロセスがずさんと思います。	本市を取り巻く環境と新たな社会課題に向き合うため、8年間の第8次総合計画の後期の4年間について大幅な見直しを行い、後期計画を策定しました。前期計画の流れを汲み、全分野の主要な施策を総合的に判断する必要があるため、審議会による策定が適切であったと考えております。

【プラン内容等への要望・意見】

- ・委員の男女比・開催回数とも予定を上回っており、パブコメもきめ細かく実施、アンケートの回収率も63%と高く、工夫の跡が見られる。
- ・アンケートの回収率が予定を上回っていることは評価できます。
- ・パブリックコメントは、修正追加の意見だけでなく、項目について賛成する意見も貴重だと思いますので、表記が必要ではないかと思います。課題解決への市民の期待が表明されたものとして大切に扱い、具体的な施策作りにかかしてほしいです。

(2) 自治基本条例の検証【企画政策課（企画情報課）】

質問・意見等	回答
市民性を育てる大切な条例なので、より多くの市民が参加できるパブリックコメントにしてほしい。想定件数が少ないのではないか。広報等に工夫が必要ではないでしょうか。	改正案を作成するに当たり、市民参加の附属機関で審議しています。パブリックコメントの閲覧場所も32施設を予定していますが、より市民の関心をもってもらえるため、分かりやすいホームページを作成するなどしてまいります。

【プラン内容等への要望・意見】

- ・委員の男女比・開催回数とも予定を上回っており、アンケートの回収率も63%と高く、工夫の跡が見られる。パブコメの結果が待たれる。
- ・パブリックコメント実施待ち
- ・本年度は必ずパブリックコメント実施のこと
- ・総計と共に、アンケートの回収率が上昇傾向にある。パブコメはこれからで評価はできない。
- ・委員の男女比が僅かですが改善され、アンケート回収率も公募市民の人数も妥当と思います。しかし、パブコメが未実施のため、予定及び市民の意見が反映されたかどうか評価できませんので、「予定どおりでない」「反映していない」とさせていただきます。

(3) 安城市教育大綱の改定【企画政策課（企画情報課）】

質問・意見等	回答
パブコメの意見提出11件は想定を上回っているが、提出者が1人は今一つ、工夫が必要。	市民に関心をもっていただけるよう広報に力を入れて取り組んでまいります。
実績件数1人で11件。拡大する為にアンケート必要。	市民アンケートで学校教育、スポーツ、生涯学習、文化・芸術分野の各分野に関するアンケートを実施しております。
市民生活に大きくかかわる分野でありながら、コメントの数が少ない。反映がない。対象事項を的確に伝えられているか等の見直しが必要と思われる。タウンミーティング的なことも開催する等の工夫が考えられる。	当該分野へ関心をもっていただけるような手法を検討してまいります。
市民参加がパブコメのみであるのに、担当課の回答が通り一遍でパブコメの意見と噛みあっていないと思います。法律の縛りがあるとのことですが、意見を反映できる余地があるというなら、市民参加が出来るように手法を根本から考え直すべきだと思います。	パブコメの意見に適切に回答するように努めてまいります。 関係各課と連携して、市民の理解が深まる手法を検討してまいります。

【プラン内容等への要望・意見】

- ・教育は、登校拒否児童生徒の増加など深刻な問題をはらんでいる。令和元年度のパブリックコメントの提出件数が一人ではさみしい。広報の工夫が必要だろうが、市民が課題に向き合うようにする工夫も必要だと思われます。

(4) 安城市障害者福祉計画の策定【障害福祉課】

質問・意見等	回 答
回収率の記載がないので、評価が難しい。	回収率は最終的に障害のある方向け調査で61.4%、一般市民向け調査では57.7%、全体では60.3%（回収2,412／発送4,000）となりました。
アンケート集計中のためアンケートの意見の反映は評価出来ませんので、概ね反映とさせて頂きました。また、公募市民は当事者は別枠で選任して、一般市民を対象とするのが本来の姿と思います。また、委員の男女比も偏りがあり改善すべきと考えます。	策定委員は外部の愛知労働局（ハローワーク）、衣浦東部保健所等に依頼する分があり男女比は均等化できない場合があります。公募委員の選定対象も含め、次期選任の際には選定方法を改めて検討いたします。

【プラン内容等への要望・意見】

- ・委員構成・男女比は予定どおりで、アンケートは集計中なるも4千部配布して回収率60%とあり高い。関係団体へのヒアリングが実施されており、2年度でパブコメの実施も予定されているのは良い。
- ・就労内容の拡大と一人一人に合った活動ができる提案をする。（例えば自然の中でできることで農作業と生産）
- ・パブリックコメントも実施したほうが良いのでは。

(5) あんジョイプラン9（第8次安城市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画）の策定【高齢福祉課】

質問・意見等	回 答
ワークショップの回数はしっかり予定を守ってください。	ワークショップは、あんジョイプラン9策定のための意見収集を目的とし、合計5回実施しますが、そのうち令和元年度に実施できたのは3回でした。令和元年度に全て実施するという当初のスケジュールが厳しかったと認識しておりますので、次期プラン策定の際は無理のないスケジュールを組むよう努めてまいります。なお、残り2回のワークショップについては、本格的にあんジョイプラン9の策定が始まる7月までに実施いたします。7月までに実施することにより、意見の計画への反映は十分可能ですので、令和元年度に5回全て実施できなかったことによる影響は生じないと認識しております。

<p>予定回数以下しか実施されていないので「予定どおりではない」</p>	<p>上述のとおり、次期計画策定の際は、予定どおり実施するよう努めてまいります。</p>
<p>ワークショップが非公募ならば、公募のタウンミーティング等を併用することが望まれる。成果物は公開すべきと考える（ただし、内容によっては必ず毎回でなくてもよい）。公開式のワークショップも併用できるとよい。情報が無いので評価ができない。</p>	<p>成果物の公開については、テーマが専門的で一般市民の方にはややわかりづらいという側面はあるものの、公開できない理由はありませんので、今後検討してまいります。</p>
<p>ワークショップが終了しておらず、アンケートも検討中のため、意見の反映は評価できません。なお、ワークショップの市民参加は一部の市民とあり、備考には福祉の専門家で議論とあります。実態として市民参加は有名無実では？やり方に問題があり是正すべきです。</p>	<p>あんジョイプラン策定のための一般市民の意見は、約8,500人を対象としたアンケートにより収集しております。加えて、パブリックコメントを実施しているため、市民の意見収集はできていると認識しております。</p> <p>一方、ワークショップにおいては、一般市民の参加率は確かに低い状況です。これは、ワークショップを専門家の意見を中心に収集する場であると位置づけているからです。</p> <p>今後の計画策定においても、同様の考え方で実施する予定であるため、ワークショップの市民参加は一部に限定して実施する方向性です。</p>

【プラン内容等への要望・意見】

- ・委員構成・男女比は予定どおりだが、アンケートは8千部以上配布・回収率も67%と高い。2年度の審議会・ワークショップ開催、パブコメも着実に進められたい。
- ・生きがいのある生活支援の提案と支援内容を明確にする。

(6) 安城市子ども子育て支援事業計画の策定【子育て支援課】

質問・意見等	回答
<p>30年度にアンケートを実施、実施数4千人で回収率61%と高い。パブコメは多くの場所で実施されているが、提出件数は1件と今一つ。周知方法の改善が求められる。</p>	<p>パブコメについては、子育て支援センターを始め多くの施設に設置をした。伝え方、働きかけ方については、各施設内における設置場所や内容の周知方法について、施設の管理者とも協議をしながら改善を図ります。</p>
<p>市民の関心度の高い分野でありながら、パブコメの提出件数が低い。対象事項を適切に伝えられているか、伝え方・働きかけ方について見直しが必要と思われる。</p>	

【プラン内容等への要望・意見】

- ・親同士の交流をスムーズに楽しく活動拡大をする。子どもの居場所を住居地の近くで確保する。
- ・回数及び意見の反映は妥当と思います。

(7) 第2次安城市環境基本計画の策定【環境都市推進課】

質問・意見等	回答
環境基本計画の内容は本来関心のある目標と考えられるが、アンケート配布1,600部に対し、回収数754部【回収率47%】は今一つ。回収率アップに向けたアンケート内容の改善・市民に対する環境意識の高揚策が求められる。	1,600名に配布し、754名から回答があったこと（回収率47%）については統計学的には問題ないと捉えています。また、施策の方向性を決定づけるアンケート調査ではないため、回収率が低いからといって計画の内容が弱くなるものではありません。調査内容におけるポジティブ要素を上げられるような施策を考えていきます。
他の市民アンケートと比べて回収率が低い。SDGs推進に各界の関心も高まっており、円卓会議等を併用するとよいと思われる。	同上
様式1-2に計画が記載されていないため、予定どおりかどうか判断できませんが、回数及び意見の反映は妥当と思います。	計画期間は令和3年4月～令和13年3月の10年間と考えています。

【プラン内容等への要望・意見】

- ・環境保全と生活のしくみ提案と実施、SDGsをふまえて安城にとって必要な項目の具体的提案（生物多様、農のあり方、生活スタイル）
- ・市民参加の理由に「市の状況に合わせて策定できるため」とある。これは市独自の課題をとらえて策定したいという意味に受け取れるので、パブリックコメント等意見を求めるときには、その旨を市民にはっきり伝える必要があると思われます。

(8) 第2次安城市雨水マスタープランの策定【土木課】

質問・意見等	回答
雨水マスタープランの理念は良いが、アンケート配布1,990部に対し、回収率910部【回収率46%】は今一つ。回収率アップに向けたアンケート内容の改善・市民に対する水田貯留の有効性理解の促進策が求められる。	今後は市民に対し、アンケートの必要性を理解していただいたうえで取り組んでいただけるよう改善してまいります。

アンケート回収率が落ちている。昨今の浸水被害等を踏まえて計画の重要性をわかりやすく伝えながらアンケートができているかの見直しを行うとよい。	今後は市民に対し、計画等の重要性を分かりやすく伝え、アンケートに回答をいただけるよう見直してまいります。
---	--

【プラン内容等への要望・意見】

- ・水源の保全確保、川の災害対策、水田活用
- ・パブリックコメントを確実に実施したほうが良い。
- ・公募市民の増員もあり、令和元年度として回数は妥当と思います。また、アンケートの回収率は目標に届かなかった事もあり、意見の反映は概ね反映とさせて頂きました。

(9) 第4次安城市生涯学習推進計画の策定【生涯学習課】

質問・意見等	回答
配布数2,000部に対し、回収585部【回収率29%】と低いのは何故か？アンケート内容の見直し・対象事項の周知方法改善が求められる。延期となっているワークショップの確実な実施が必要と言える。	今回、返信用封筒を使用した回収に加え、インターネットを使用した回収も実施しましたが、目標値以下の回収率となってしまいました。次回は回収方法の見直しに加え、配布数やアンケート項目の見直しも検討します。新型コロナウイルス感染症の影響により延期したワークショップは令和2年度に実施予定です。
アンケートの回収率が低い。ワークショップが開催しておらず、市民参加や議論内容が反映されていたかについて評価ができない。ワークショップメンバーが固定しているならば、アウトリーチ的な活動の中を含めるとよい。	新型コロナウイルス感染症の影響により延期したワークショップは令和2年度に実施予定です。アンケートの回収率については遺憾ですが、今後も市民の意見を取り入れる方法をアウトリーチ活動含め検討します。
委員会及びワークショップが予定どおりではないですが、この時期致し方ないと考えます。ただ、アンケートの回収率目標40%は低すぎると思います。だから結果として29.3%しか回収できなかったのではないのでしょうか。回収方法を変えて頂きたいと思えます。	今回、返信用封筒を使用した回収に加え、インターネットを使用した回収も実施しましたが、目標値以下の回収率となってしまいました。次回は回収方法の見直しに加え、配布数やアンケート項目の見直しも検討します。

【プラン内容等への要望・意見】

- ・市民力の活用

(10) 安城市文化振興計画の策定【文化振興課】

質問・意見等	回答
概ね予定どおりと思います。また、アンケートの回収率も高いと思います。(eモニターは手法として有効と思います)ただ、意見を反映したかどうかは、現状及び課題の把握となっているため評価に該当しないと思います。よって、反映していないとさせて頂きました。	具体的な意見としては、約4割のグループが新規加入者の不足に悩み、逆に新たに参加する側はどのような文化芸術団体があるのかわからないというものがありました。このことから、広報も含めたグループの運営能力向上を考えています。

【プラン内容等への要望・意見】

- ・委員構成・男女比は問題ない。アンケートの回収率73%と高い。ヒアリングの調査数も34人とあり、現状把握に努めている。今後の計画策定に活かしてほしい。
- ・eモニターやヒアリングを併用していて、積極的に意見を聴取しようとする姿勢がある。

(全体を通して)

質問・意見等	回答
評価シートの作成に当たっては、当年度で対象事項の実施期間が終了しているような場合【例えば対象事項 No. 6 安城市子ども子育て支援事業計画の策定】は、対象年度の実績ではないことであってもなるべく記載していただき、全体としてこの対象事項に対する市民参加がどうであったか、判断する視点も必要なことではないか？	今後、対象年度以外での市民参加の実績についても詳細を記入します。
予定どおり実施できたかどうか様式1-2のスケジュール表に予定と実績を併記して一目で分かる様にして頂きたい。 頂いた資料だけでは予定どおり実施できたのか、アンケートやパブコメ、ワークショップと審議会の開催時期が妥当かどうか分かりにくく判断できません。	今後、様式1-2のスケジュール表に予定と実績を併記して記入します。
世の中の状況から郵便物やハードコピーを直接触る事、家に持ち込むことは出来れば避けたいです。 会社でもテレワークが進んでいますし、メールに添付してデータでやり取りできるのであれば、なるべくそうして頂けると有難いです。 以上、ご配慮いただければ幸いです。	メール添付希望か書類での送付希望かの調査を行い、各委員の希望に沿った方法でやりとりできるよう改善します。

### 【全体を通しての意見等】

- ・今回の評価シート作成に当たっては、各対象事項について別葉で「対象事項の概要」を添付していただいております、対象事項のイメージがよく分かり、評価がし易くなっている。
- ・送られてくる資料から「市民の意見が反映させていたか」を評価するのは難しい。反映した主な意見欄に記載があつたりなかったり、書かれていても検討中や未定のものも全て「反映していない」とさせていただきます。
- ・委員の男女比が同じか増えた委員会もありおおいに評価します
- ・策定にあたり、当事者年代はもちろんのこと、関わる多くの市民の意見を聞き、取り入れてほしい。また各年代との各策定実践を実のあるものにするために意見交換交流も必要だと思います。（パブリックコメント、説明会など大いに活用して）
- ・アンケートやパブコメのまとめができていない事業が多すぎると思います。資料3でしか意見を反映したかどうか判断出来ないのは評価に偏りが出ると思います。